



市役所入口付近に整備された花壇に、バラが咲き誇りました。(10月中旬)



介護を担う人受ける人が大切にされるための後押しを



日本共産党あやせ 福田久美子



2000年以前の木造住宅にも耐震補強工事補助金を



日本共産党あやせ 上田 博之



市の鳥「カワセミ」

●介護を受ける人、担つ人が大切にされる高齢者介護を



Q 高齢者虐待防止に向けた周知啓発状況は。

A 市ホームページでの相談窓口の周知のほか、事業所職員に対し虐待防止講座を実施している。新たに、家族介護者教室を開催し、自身の心身の健康が虐待防止につながることを広く伝えていく。

Q 家族介護者の介護負担軽減策となるレスパイトケアの周知方法は。

A 家族から介護負担など

するため、A-Iデマンド型交通実証実験の意見集約では、高齢者への影響をどう把握するか。

A 登録者の利用実態データを集約するとともに、登録者以外の評価や意見などの把握も必要と考えており、手法を含め検討していく。

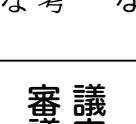


2000年以前の木造住宅にも耐震補強工事補助金を



日本共産党あやせ 上田 博之

デマが拡散されたが、正確な情報発信をすべきでは。されないが、引き続き適切な取り扱いに努めていく。



審議案は、このように審議されます



Q 災害時の水の確保について

A 災害時における飲料水と生活用水の確保状況は。

Q 飲料水は備蓄に加え、市内7カ所に100立方メートルの耐震性貯水槽を備えている。生活用水は市内小・中学校の鋼板プールのほか、災害対策用井戸として、市内218カ所の登録がある。

Q 市の運搬と給水方法は。

A 市と市管工事業協同組合が、車両に積載するタイプの給水タンクを1基ずつ保有しており、各避難所の給水タックや市民に対し給水する。した訓練の実施状況は。

Q 各小・中学校に設置されたマンホールトイレを使用

Q 災害時に生活を支える水の確保に向けた市の対応策は

A 毎年行う避難所開設訓練で、建屋の設置訓練を行っている。実際に水を流す訓練は一部の自治会と市職員に限られており、今後、市民による操作訓練を検討していく。

Q 市の空き家対策について

A 老朽化による周囲への影響や、相続など権利関係の複雑化で、所有者の特定が困難となることが課題である。所有者不存在の空き家に対する対応方法と状況は。

A 令和4年度から、家庭裁判所に申し立てを行う相続対応について

Q 公園の安心安全な利用について

A 遊具更新の必要性の判断と更新時期をどのような基準で定めているのか。

Q 利用者の安全を第一に、点検結果や公園施設長寿化計画、地域の要望などを総合的に判断し、決めている。

A 公園の入り口に二次元コードを掲示し、多言語対応の利用案内をするなど、ICTやデジタル技術を活用した周知方法を検討しないか。

Q 全ての公園を対象とすることは困難であるが、公園の選定基準を含め、他の市の事例などを調査研究していく。

A 日常的に犬の散歩を行う市民が地域の安全を見守る

Q 国際園芸博覧会をどのように認識し、準備やPR計画を進めているのか。

A 現時点で具体的な計画を立てられる状況にはないが、さまざまな媒体を活用し、効果的なPRを実施していく。

Q 介護を受ける人、担つ人が大切にされる高齢者介護を

A 市ホームページでの相談窓口の周知のほか、事業所職員に対し虐待防止講座を実施している。新たに、家族介護者教室を開催し、自身の心身の健康が虐待防止につながることを広く伝えていく。

Q 家族介護者の介護負担軽減策となるレスパイトケアの周知方法は。

A アンケート調査などで把握した、コミュニティバスの存続を望む声やバス停までの移動手段に対する課題などを踏まえ、新たな手段を確保

Q 移動政策を望む声の把握やその反映方法は。

A 消防力の強化を図るとともに、火災予防では、感震ブレーカーなどのさらなる普及啓発に努めていく。

Q 現在昭和56年までの木造住宅耐震化補助対象を、新耐震基準まで拡大しないか。新国は、平成12年5月までに建築された木造住宅も耐震化対策の強化を図るとしているが対策は。

A 消防力の強化を図るとともに、火災予防では、感震ブレーカーなどのさらなる普及啓発に努めていく。

Q 県公表の市被害想定では、火災発生30カ所、1070棟焼失、死者250名となつているが対策は。

Q 生活保護費引き下げ裁判の被告である綾瀬市は、最高裁敗訴判決を受け、控訴を取り下げ、謝罪すべきでは。保護基準を定めた国が主体で対応を進めており、動向を注視し対応していく。

Q 生活保護などに関する

Q 役割を担う「わんわんパトロール」を試行導入し、参加を募る考えはないか。

A 子どもや高齢者の安全などへの気配りや、不審者を見かけた際の通報など、地域の防犯力向上に貢献する取り組みであると考えており、実現に向けて検討していく。

Q 2027年国際園芸博覧会における綾瀬市のPR計画について

A 国際園芸博覧会をどのように認識し、準備やPR計画を進めているのか。

Q 市長や議員が提出

審議案は、このように審議されます